

## 令和2年度 公益財団法人滋賀県スポーツ協会事業報告

2025滋賀国スポ・障スポの開催や健康しがの実現に向け「第5次中期経営計画」(2019年度～2024年度)の目標達成に向けて取組を進めるべく計画したところであるが、新型コロナウイルス感染症の拡大により2024年に開催予定であった滋賀国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会(以下、「滋賀国スポ・障スポ」という。)の1年延期が決定された。更に各種事業の開催中止、規模の縮小、リモート開催など、コロナ禍における実施の方法を模索しながら取り組む1年となった。

こうした中、本県のスポーツを総合的に推進する団体としてその中心的な役割を担うため、県および日本スポーツ協会と連携・協力し、関係団体や関係機関への情報提供を随時行った。

生涯スポーツの推進については、人口減少社会を迎えた中で、スポーツの力で滋賀を元気にし「活力あるスポーツしが」の実現に向けて、地域スポーツおよび各団体への活動支援を行った。特に、県受託事業である「スポーツ団体活動再開等支援事業」では、コロナ禍における各団体の事業再開を支援した。

競技力の総合的な向上については、鹿児島国体の延期に伴い、滋賀県主管の近畿ブロック大会も冬季を除き中止となり、選手にとって目標を見失う厳しい1年となったが、引き続き「滋賀県競技力向上対策本部」へ4名の役・職員の派遣を行い、県と共同で選手強化事業を推進するとともに、少年種別の強化・充実を図るため、次世代アスリート発掘育成事業に取り組んだ。

県から指定管理として受託している県立社会体育施設9施設については、県の整備の方向性等を踏まえて適切な運営に努めるとともに、令和2年度に指定管理期間が終了となったスポーツ会館、彦根総合運動場、琵琶湖漕艇場、栗東体育館、柳が崎ヨットハーバー、アイスアリーナの6施設について、指定管理者として継続して指定を受けた。

### 公益目的事業

#### I 県民総スポーツ普及・振興に関する事業

##### 1. 県民にスポーツの機会を提供する事業

###### 1) 県立スポーツ施設を活用したスポーツ振興事業

各施設においてそれぞれの特性を活かした新規事業を多く計画したが、新型コロナウイルス感染拡大防止を目的とした施設閉鎖に伴い、多くの事業において中止、規模・回数縮小を行い、その結果、事業数は増えたものの参加人数については前年比27%減の34,882人に留まった。

指定管理施設	スポーツ振興事業数	参加者数
県立スポーツ会館	14事業 (13)	4,011人 (7,054)
県立彦根総合運動場	8事業 (7)	465人 (1,215)
ウカルちゃんアリーナ(県立体育館)	8事業 (7)	3,138人 (5,319)
県立武道館	15事業 (12)	1,568人 (3,592)
県立琵琶湖漕艇場	9事業 (9)	2,465人 (5,967)
長浜バイオ大学ドーム	10事業 (7)	12,874人 (10,117)
県立栗東体育館	7事業 (8)	4,760人 (6,917)
県立柳が崎ヨットハーバー	5事業 (5)	160人 (109)
県立アイスアリーナ	19事業 (18)	5,441人 (7,315)
計	95事業 (86)	34,882人 (47,605)

( )内は令和元年度実績

###### 2) 県立スポーツ施設(指定管理) 利用事業

###### ① スポーツの場を提供する施設

新型コロナウイルス感染防止のため、4/11から5/31までの期間、全指定管理施設(9施設)において休館要請(5/18～一部屋外施設開館)を受け、また、それ以降も利用人数制限が行われ、前年比47%減の375,349人となった。

休業要請解除後の貸館については、「滋賀県スポーツ協会新型コロナウイルス感染予防対策」を策定し、定期的な換気の実施、対人距離の確保、検温による発熱等の症状のある方の入場制限、施設内の消毒等を徹底し、安心・安全な施設管理・運営に努めた。

指定管理施設	利用者数	指定管理期間
県立スポーツ会館	39,161人 (66,670)	平成28～令和2年度
県立彦根総合運動場	21,298人 (35,221)	令和元～2年度
ウカルちゃんアリーナ（県立体育館）	56,747人 (145,658)	令和元～6年度
県立武道館	21,961人 (72,554)	令和元～6年度
県立琵琶湖漕艇場	26,527人 (27,933)	令和2年度
長浜バイオ大学ドーム	84,136人 (163,453)	令和元～6年度
県立栗東体育館	38,612人 (50,094)	平成28～令和2年度
県立柳が崎ヨットハーバー	11,187人 (16,919)	平成28～令和2年度
県立アイスアリーナ	75,720人 (126,109)	平成28～令和2年度
計	375,349人 (704,611)	

( )内は令和元年度実績

### 3) ラジオ体操普及推進事業

国民の体力向上と健康増進を目的として1951年から親しまれているラジオ体操の効果、効用に改めて注目し、指導者養成をはじめ、気軽に体操を実施することができるきっかけづくりや実施環境の整備に向け、各郡市スポーツ協会等関係団体との情報交換や取組紹介等に努めた。

### 4) 広報・情報提供事業

#### ① スポーツ情報誌、「Bispo! +」の発行等

滋賀の総合的なスポーツ情報誌「Bispo! +」を発行し、広くスポーツの意義、素晴らしさを発信するとともに、滋賀のスポーツを応援する人、団体、企業等の輪を広げる情報提供事業を展開した。

情報提供媒体	発行回数	内容・発行部数	
スポーツ情報誌「Bispo! +」	4回	Vol. 25 (7/31発行) Vol. 27 (12/27発行)	Vol. 26 (9/30発行) Vol. 28 (3/26発行) 各18,000部
ホームページバナー広告	通年	本会ホームページ広告掲載	6社
総合型クラブナビの発行	0回	県内クラブ情報掲載	HPに掲載
総合型クラブ啓発用リーフレット	年間1回	総合型地域スポーツクラブ啓発紙	2,000部

スポーツ情報誌「Bispo! +」については、滋賀にゆかりのあるアスリートや地域スポーツ情報など幅広い内容を掲載して、誌面充実を図った。従来と同様、県内企業、金融機関、病院、理容店、美容店、イトマンスイミングスクール、イオン、平和堂、ローソン各店舗などへの配置のほか、滋賀県農業協同組合各支所に配布し、より多くの人やスポーツに関心のなかった方にも手にとっていただけるよう、情報発信に努めた。

#### ② エフエム滋賀 番組情報提供事業

(県スポーツ協会、県文化スポーツ部からの情報提供。県スポーツ協会と民間企業の財源提供)

2025滋賀国スポ・障スポ開催に向けて、エフエム滋賀の番組を通じて、滋賀県のスポーツ情報やスポーツ選手の活躍・素顔を紹介し、県民の皆さんによりスポーツの魅力を理解いただき、2025滋賀国スポ・障スポ開催の気運を高めるよう努めた。

(番組概要) 毎週金曜日午後のワイド番組「トリコロール」の中で約10分間放送

#### ③ チーム滋賀応援プロジェクト事業

「TEAM SHIGA」のポロシャツをスポーツ関係者等に販売し、シャツの左胸には2025滋賀国スポ開催を告知するロゴをプリントし、広報に努めた(600枚)。また、県内の子どもたちのスポーツ環境づくりの一助となるよう、売上げの一部を小学校等へのスポーツ用具提供に充当した。

## 5) 表彰事業

(公財) 滋賀県スポーツ協会表彰規程および同表彰基準に基づき、本県スポーツの普及振興に功績顕著な者およびに競技力向上に貢献した個人・団体を表彰した。

表彰式 令和2年11月12日(木) びわこ大津プリンスホテル コンベンションホール

スポーツ功労賞 10名	スポーツ奨励賞 16名	合計 個人26名
-------------	-------------	----------

## 6) 障害者スポーツ推進事業およびスポーツ振興運営事業

滋賀県障害者スポーツ協会が主催するスポーツ推進事業(スポーツアドバイザー事業・指導者養成事業・アスリート支援事業)およびスポーツ振興運営事業(顕彰事業、指導者研修事業、スポーツ普及振興事業)を支援した。

## 7) 県小学校記録会補助事業(水泳記録会・陸上記録会)

新型コロナウイルス感染症のため中止となった。

## 2. 各種スポーツ大会を通じスポーツの社会的な価値を創造する事業

### 1) 県民総スポーツの祭典(実行委員会で実施)

6部門で開催する予定であった県民参加型の「県民総スポーツの祭典」は、新型コロナウイルス感染症により8月末までの大会を9月1日以降に延期し、日程調整が可能で、かつ感染予防対策が徹底できた競技種目について開催した。

大会名	開催期日	会場	参加者数等
第73回県民体育大会の部	9月～3月	県下全域	一般 1,098人 高校 4,510人 中学 62人 合計 5,670人
スポーツ・レクリエーション大会の部	9月～2月	県下全域	合計 1,644人
レクリエーション大会の部	中止	県下全域	合計 0人
県内総合型地域 スポーツクラブ交流大会の部	9/27 11/15 2/14	長浜市 野洲市 甲賀市	ホークリング 58人 グラウンドゴルフ 98人 加ーリング 60人 合計 216人
びわ湖駅伝スポーツフェスティバルの部	3/14	希望が丘 文化公園	80チーム 568人
県障害者スポーツ大会の部	9/20、11/1	県下全域	個人競技 121人 団体競技 0人 合計 121人

- ・ 県民体育大会一般の部においては、日程調整が難しいことや中央競技団体の示す新型コロナウイルス感染予防対策の基準が満たせないなどの理由から、51競技中39競技が中止となり、12競技の開催となった。高校の部においては36競技中19競技の開催、中学の部は7月に開催予定であったことから全て中止となった。
- ・ スポーツ・レクリエーション大会の部については、27種目中11種目の開催になり、参加者も昨年に比べ約1/3の1,644名となった。
- ・ レクリエーション大会の部では、全ての種目が開催できなかった。
- ・ 県内総合型地域スポーツクラブ交流大会の部では、7種目の内3種目の開催となった。
- ・ びわ湖駅伝スポーツフェスティバルの部においては、参加者を滋賀県在住・在勤・在学の者に限定し、規模を縮小した上で開催した。また、県民が気軽にスポーツに親しむための各種スポーツ体験や体力測定コーナーは感染予防対策の観点から中止した。
- ・ 県障害者スポーツ大会の部では、団体種目は中止とし、個人競技の2競技のみの開催となった。

## 2) 第11回びわ湖レイクサイドマラソン2021（県と共催）

新型コロナウイルス感染症により令和3年2月14日～2月27日の間、オンラインマラソンとしての開催となった。参加者2,002人が期間内に完走した。

## 3) 2025滋賀国スポ記念「関西広域連合指導者講習会」

令和3年1月17日 栗東芸術文化会館さくら 大ホール 305人

2025年に開催される滋賀国スポに興味・関心を持っていただき、「する・みる・支える」大会の実現に向けた機運を高めること、および関西圏域内のスポーツ指導者の指導力向上・指導者間の情報交換やネットワークづくりを目的に実施した。

### ① 基調講演「逆転のメソッド ～子どもの成長のために今できること～」

原晋氏（青山学院大学地域社会共生学部教授 同大学陸上競技部長距離ブロック監督）

### ② 事例発表「コロナ禍におけるスポーツ指導」

北波正衛氏（一般社団法人関西学生バスケットボール連盟理事長）

近藤高代氏（近江高等学校保健体育科教諭）

### ③ シンポジウム「コロナ禍におけるスポーツ現場の現状と課題」

パネリスト 北波正衛氏、近藤高代氏

辰巳直樹（滋賀県立体育館・武道館管理センター所長）

コーディネーター 岡本直輝氏（立命館大学スポーツ健康科学部教授）

## 4) 元気キッズ応援チャリティーゴルフコンペ

令和2年9月29日（火） 甲賀カントリー倶楽部 97人

令和2年12月4日（金） センチュリー・シガ・ゴルフクラブ 62人

生涯スポーツとしてのゴルフ競技の普及振興を図るとともに、県内の子どもたちのスポーツ環境づくりの一助となるよう、参加者の寄付金で小学校等にスポーツ用具を提供した。

スポーツ用具提供は実施10年目となり、毎年小学校から多数の応募が寄せられている。

学習指導要領に準拠した用具を選定しながら、可能な限り小学校へ用具を提供した。

（前掲「TEAM SHIGA」ポロシャツ販売との合同事業）

◎提供用具	ティーボールセット	8校（申請39校）	
	タグベルト	3校（申請 9校）	
	ステップカラーラバーリング	5校（申請 6校）	
	バックウエイトハードル	3校（申請18校）	
	ジャベリングボール	3校（申請18校）	計22校

## 5) スマイルキッズスポーツフェスタ（スポーツ庁国庫補助事業）

子どもの運動不足による体力の低下を解消することを目的に、スポーツ少年団と総合型地域スポーツクラブの協力を得て、日本スポーツ協会が推進するアクティブ・チャイルド・プログラム

（ACP）や総合型地域スポーツクラブのPicを活用した運動遊びの体験イベントを実施した。県内2会場で、3歳児から小学3年生までの子どもと保護者を対象に開催した。

長浜会場 令和2年11月 8日（日） 午前・午後（計2回）

会場：長浜バイオ大学ドーム 参加人数：計325名

守山会場 令和2年11月21日（土） 午前・午後（計2回）

会場：守山市民体育館 参加人数：計191名

## 3. 地域スポーツの促進支援事業

### 1) スポーツ少年団育成事業

スポーツによる青少年育成の理念を発信すると共に、団員数の減少という課題に対応するため、事業内容の充実や加入促進に向けた市町の取り組みについて情報交換を図るなどの取組を進めた。

令和元年度3月から令和2年度9月までの事業は新型コロナウイルス感染症により中止となったが、10月以降の事業については、開催規模を縮小（短時間化、宿泊を伴う事業は通いにするなど）し、感染予防対策を徹底した上で実施した。

一方、指導者資格取得のための日本スポーツ協会スタートコーチ（スポーツ少年団）養成講習会は、コロナ禍で中止となった。

また、市町の事業、8つの競技育成専門部、指導者協議会、リーダー会に対して行っている補助事業についても、多くの事業が中止となった。

#### スポーツ少年団加入状況

年度	加盟市町村	加盟単位団	団員	指導者	役員	スタッフ
令和2年度	19市町	417団	12,184人	2,483人	152人	997人

#### ①組織充実事業

各種事業	開催日等	会場	参加人員
指導者協議会研修大会	2/6	県立男女共同参画センター	107人
滋賀県リーダー会県内中学生交流会	3/7	膳所公民館	4人

※女性のつどい、スタートコーチ養成講習会、滋賀県リーダー会他府県交流会は中止

#### ②育成事業

各種事業	開催日等	会場	参加人員
滋賀県スポーツ少年団表彰式	2/6	県立男女共同参画センター	受彰者 37人、2団
育成母集団研修大会	10/24	米原公民館大ホール	指導者・育成会員84人
ジュニア・リーダースクール	12/12・13日帰り	希望が丘 青年の城	団員 12人
市町スポーツ少年団育成補助事業	4/1～3/28	ア 育成会(母集団)研修活動8市2町(10/19) イ 地域交流活動事業7市3町(10/19) ウ 運動適性テスト実施事業 5市2町(7/19) エ モデル少年団育成事業 4市 (4/19)	

#### ③交流会開催事業

第53回滋賀県スポーツ少年大会は中止した。

第47回日独同時交流事業は、派遣・受入とも中止となった。

#### ④アクティブ・チャイルド・プログラム普及促進事業（3歳～5歳の登録者 141名 前年比+6名）

事業名	開催日等	会場	参加人員
都道府県普及促進研修会	11/14(土)	近江八幡市運動公園体育館	参加者14人指導者3人運営委員3名
県内普及活動	10/31(土)	東近江市五個荘体育館	参加者 40人 県スポーツ少大会
	11/8(日)	長浜バイオ大学ドーム	参加者325人スマイルキッズスポーツフェス
	11/21(土)	守山市民体育館	参加者191人スマイルキッズスポーツフェス
	9月～2月	栗東市治田小学校体育館	総参加者 200人(毎月1回活動)

#### 2) 広域スポーツセンターによる総合型スポーツクラブ育成支援事業

広域スポーツセンターでは、だれもが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことのできる環境づくりのため、県民が身近で自主運営を行うことのできる総合型地域スポーツクラブの創設・育成支援を行った。

##### ①広域スポーツセンター運営事業（県受託事業）

「自己点検・評価表」を活用することで、クラブの現状を把握し、改善に向けた取組のための点検・評価を定期的に行い、PDCAサイクルの実践と定着に繋げた。未設置地域においては、地域の課題解決のためにはコミュニティの核となる総合型クラブが必要であることを理解いただけるよう巡回指導に努めた。〔設置準備中：日野町 未設置：甲良町〕

地域スポーツ指導者研修会については、総合型地域スポーツクラブスタッフ、中学校運動部外部指導者、競技団体指導者等が参加し、指導者の資質向上に努めた。

各種事業	活動日等	会場および参加人数等
総合型地域スポーツクラブ および市町巡回指導・調査	訪問回数 104回	大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市、東近江市、 草津市、守山市、栗東市、野洲市、湖南市、甲賀市、 米原市、高島市、日野町、豊郷町、甲良町、竜王町 多賀町、愛荘町
総合型地域スポーツクラブ 連絡協議会	年間2回	会場：野洲市、近江八幡市 計 77人
地域スポーツ指導者研修会	12/5 12/12	会場：立命館大学草津キャンパス 長浜バイオ大学ドーム 計 58人

※日本スポーツ協会公認アシスタントマネジャー養成コースは中止した。

②子どもの運動習慣アップ支援事業（県受託事業）

地域の課題である「子育て世代の運動参加促進」と「子どもの体力低下」の解決を図るため、モデル事業を実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症により中止した。

「運動遊びプログラムPic」をもとに、プレイリーダー養成講習会を1回開催した。

③総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度に関する説明会

令和4年度より運用される総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度を周知するため、クラブ関係者、市町生涯スポーツ担当者、市町スポーツ協会関係者を対象に制度説明会を開催した。

開催日	会場	対象	人数
7/21	東近江市 五個荘コミュニティセンター	総合型クラブ関係者 市町スポーツ協会関係者 行政担当者	25人
7/29	長浜市 湖北勤労福祉会館「臨湖」	総合型クラブ関係者 市町スポーツ協会関係者 行政担当者	24人

3) スポーツ指導者の育成・活用促進事業

①「公認スポーツ指導者への情報提供システム」

指導者が常に最新の情報を得て能力を高め、より一層の資質向上に努めることができるよう、公認スポーツ指導者に対して、スポーツに関わる様々な情報をリアルタイムに提供した。また、新たな登録者確保のためシステムへの登録促進を図った。

②公認スポーツ指導者養成事業

公認スポーツ指導者の新規養成事業である指導員養成講習会と、有資格者の資格更新のための義務研修である滋賀県スポーツ指導者研修会について、加盟競技団体や滋賀県スポーツ指導者協議会と協働して実施した。

- ・ 公認コーチ1 養成講習会（バドミントン） 参加者14人
- ・ 公認コーチ1 養成講習会（バレーボール） 参加者16人
- ・ 公認コーチ1 養成講習会（ハンドボール） 参加者 9人
  
- ・ 第1回滋賀県スポーツ指導者研修会  
 令和2年9月26日（土） コラボしが21大会議室 参加者77人
  - 1) 「スポーツ指導における法的責任」  
 講師 増田朋記氏（御池法律事務所弁護士）
  - 2) 「選手との距離・北京2022へ向けた思い」  
 講師 信田憲司氏（パラアイスホッケー日本代表監督）
- ・ 2025滋賀国スポ記念「関西広域連合指導者講習会」（再掲）  
 令和3年1月17日（日） 栗東芸術文化会館さくら大ホール 参加者305人

#### 4) 企業・大学等との協働事業

##### ① 企業スポーツ振興協議会運営補助事業

企業スポーツ振興協議会運営補助事業では、新たな会員獲得に努め、会員企業数は令和元年度188社から令和2年度208社に増加した。

- ・選手派遣協力表彰 2社（桑野造船株式会社・東レエンジニアリング株式会社滋賀事業所）
- ・輝く企業選手支援事業

協議会会員企業所属の将来を担う選手・チームを助成 個人9名、団体2チーム

- ・滋賀国スポ活躍選手等支援事業

2025滋賀国スポ入賞に向けて協議会会員企業に雇用された選手・指導者を助成 選手4名

##### ② 大学等連携事業

- ・コロナ禍ではあったが、本部および各施設でインターンシップおよび職場体験の受入を行い、学生・生徒に各施設の運営方法、業務内容を指導した。

インターンシップ：本部・1事業所 計4人 職場体験：1事業所 計2人

- ・県内の大学と連携し、認知症予防プログラムの開発に取り組み、各施設での実践に向けた研究を行った。

#### 5) 主な共催等事業

- ① 浅田真央サクスツアー 令和2年8月15・16日 主催：IMG 主管：ヒーローズイベント

滋賀県立アイスアリーナ 全4公演 入場者計2,150人

#### 6) その他の事業

- ① 体育施設運営士養成講習会（日本体育施設協会公認資格取得講習会）令和3年1月13日～14日

滋賀県立武道館 参加者 31人

## II 競技力向上に関する事業

### 1. 2025滋賀国スポを見据えた競技力の向上

県競技力向上対策本部へ事務局員として本協会役・職員の派遣および負担金の支出を行った。これまで本協会が培ってきた競技団体との連携や競技力向上対策等に係る経験と実績を活かし、県と連携した競技力分析および競技力向上対策事業を実施した。

### 2. 国民体育大会派遣事業

国民体育大会および国民体育大会近畿ブロック大会の大会実施要項に基づき、選手・監督・役員等の派遣を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、「第75回国民体育大会（鹿児島大会）」が2023年度に延期、「第75回国民体育大会近畿ブロック大会（滋賀県大会）」・「第76回国民体育大会冬季大会スキー競技会」が中止となった。「第76回国民体育大会近畿ブロック大会アイスホッケー競技会（成年種別）・フィギュア競技会予選会（兵庫県）・アイスホッケー競技会北信越・近畿・東海ブロック予選会（少年種別）」・「第76回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会」への派遣をするにとどまった。

大会名	会場	期日	参加者
第75回国民体育大会近畿ブロック大会	滋賀県 (一部 大阪・京都)	新型コロナウイルス感染症により中止	
第75回国民体育大会	鹿児島県	新型コロナウイルス感染症により延期	
第76回国民体育大会近畿ブロック大会 アイスホッケー競技会	滋賀県	11/28～12/6	1競技 31人
第76回国民体育大会フィギュア競技会 予選会	兵庫県	12/5～12/6	1競技 4人
第76回国民体育大会アイスホッケー競技会 北信越・近畿・東海ブロック予選会	愛知県	12/19～12/20	1競技 20人

第76回国民体育大会冬季大会スケート競技会	岐阜県恵那市 愛知県名古屋市	1/27～1/31	1 競技	24人
第76回国民体育大会冬季大会アイスホッケー競技会	愛知県豊橋市 長久手市	1/27～1/31	1 競技	33人
第76回国民体育大会冬季大会スキー競技会	秋田県鹿角市	新型コロナウイルス感染症により中止		

男女総合成績（天皇杯得点） 空位 女子総合成績（皇后杯得点） 空位

- ・国民体育大会・全国障害者スポーツ大会結団壮行式「会期前」、「本大会・障スポ大会」、「冬季大会（スケート・アイスホッケー競技会）」「冬季大会（スキー競技会）」のいずれも中止した。

### 3. 湖上スポーツ育成強化対策

県競技力向上対策本部の補助事業として、本協会が指定管理者である琵琶湖漕艇場・柳が崎ヨットハーバーを拠点としたボート・カヌー・セーリング競技の強化事業を行った。

ボート・カヌー競技 計5事業 開催延回数：295回 参加延人数：1,688人  
セーリング競技 計1事業 開催延回数：5回 参加延人数：30人

### 4. 成年種別の競技力向上

企業スポーツ振興協議会との連携により、選手支援事業を拡大し、今後さらなる活躍が見込まれる選手やチームに対して積極的な支援に取り組んだ。

### 5. 次世代アスリート発掘育成プロジェクト 滋賀レイキッズ（県受託事業）

次世代のトップアスリート育成を目指し、運動能力に優れた子供たちを発掘し、身体能力・知的能力の開発や様々な競技体験を通じ、トップアスリートを目指すジュニア選手を育成する事業に取り組んだ。

#### ①第7期生セレクトプログラム

第1ステージ…6回開催（10/17, 24, 25, 11/7, 8, 21…ウカルちゃんアリーナ他）

参加人数：239名

合格者…42名（男子21名、女子21名）

#### ②育成プログラム

##### 競技体験プログラム

対象：6期生42名、6期ライト生 …開催回数14回

ライフル射撃、スケート、アイスホッケー、ホッケー、ラグビー、スポーツツライミング

フェンシング、ボート、ボウリング、アーチェリー、なぎなた、ウエトリフティング、スキー（クロスカントリー）、飛込

身体・知的能力開発プログラム、食育プログラム等

対象：6期生…開催回数8回

対象：7期生…開催回数2回

##### ライト生プログラム

対象：6・7期ライト生、…開催回数6回 参加人数227名

## 収 益 事 業

### I 公益目的事業以外での施設の提供および駐車場・自動販売機収益事業

#### 1. 特定の団体が会員等を対象に開催する事業等

- 1) 使用者が入場料またはこれに類する金銭を徴収する興行事業、および特定団体、個人会員等を対象とする催し目的の施設利用

施 設 名			
県立武道館	県立体育館	長浜ドーム	アイスアリーナ
0人(350)	18,273人(51,252)	0人(47,485)	4,000人(11,550)
22,273人(110,637)			

( )内は令和元年度実績

## 2) 駐車場提供と自動販売機による収益事業

駐 車 場		自 動 販 売 機
県立武道館	ヨットハーバー	
6,864台(20,179)	3,392台(3,396)	27台(27)
10,256台(23,575)		

( )内は令和元年度実績

(同左)

## 堅実な組織運営を継続的に推進する事業

### I 事業・組織を運営する仕組み

生涯スポーツの実現と競技力向上の推進については、各専門委員会を中心に事業の企画・立案はもとより、必要に応じてワーキンググループや検討委員会等を設置し、具体的な事業目標や実施方法を確立し事業内容・規模の更なる充実に努めた。

一方、これら諸事業の一層の充実と発展を図るためには、安定した財政基盤の確立はもとより各種事業を広く県民にアピールし理解と支援を得ることが重要であることから、協会事業の積極的なPR活動に努め、行政機関や企業・個人などを対象に賛助会員の募集・拡充に努めた。

#### 1. 主体的・自主的な法人の経営

- 1) 経営改善会議（各指定管理施設長会議）年4回開催 スポーツ会館等 出席者各13人
- 2) コンプライアンス委員会  
第1回委員会 令和2年7月17日（金） 農業教育情報センター 出席者 13人
- 3) 県民総スポーツ普及振興事業 事業評価委員会  
令和3年3月1日（月） 滋賀県農業教育情報センター第3研修室 出席者 25人
- 4) 加盟団体会長会議・県スポーツ協会表彰式・生涯スポーツ功労者表彰(文部科学大臣表彰)伝達式  
令和2年11月12日(木) びわ湖大津プリンスホテル  
・加盟団体会長会議 127人  
・スポーツ協会表彰式 26人  
・生涯スポーツ功労者表彰伝達式 1人
- 5) 郡市スポーツ協会研修会 令和3年2月26日 県立武道館 大会議室 参加者 12名  
WEB参加 16名
- 6) 加盟団体育成・サポート事業  
加盟団体事業への賠償責任保険加入
- 7) 自主財源等の拡充
  - ①加盟団体負担金：73団体からの負担金
    - ・競技団体(54団体、基本+人員割)・学校教育関係団体(3団体、定額)
    - ・郡市体育・スポーツ協会(16団体、人口割)

- ②賛助会費：団体および個人からの会費  
 ・145(148)団体、個人会員 75(62)人 合計 220(210)会員

③その他の収益事業

- ・ 広告料収入：「Bispo! +」への広告掲載  
 コカ・コーラ、スポーツ安全協会
- ・ 特定事業協賛金：  
 びわ湖男女駅伝スポーツフェスティバル  
 滋賀県民共済・上西産業株式会社・公益財団法人平和堂財団・日清食品株式会社  
 2025滋賀国スポ記念講演会  
 スポーツ安全協会

8) 要望活動

コロナ禍におけるスポーツ活動の活性化、2025滋賀国スポ・障スポの開催に向けた滋賀県競技力向上推進計画の積極的な実施、県立社会体育施設の整備・充実、競技団体の組織強化および生涯スポーツ社会の実現に向けた環境整備等について、本協会会長、副会長等が7月～10月に知事、県議会議長等、県関係者に要望を行った。

9) その他

日本スポーツ協会諸会議（リモート開催）、近畿2府4県諸会議（リモート開催）他

**2. 協会運営等諸会議**

1) 専門委員会の開催

第1回総務委員会	令和 2年 5月26日 (火)	書面開催	
第2回総務委員会	令和 2年 9月 8日 (火)	県立武道館	出席者 7人
第3回総務委員会	令和 3年 3月 4日 (木)	県立武道館	出席者 6人
スポーツ基金委員会	令和 3年 2月15日 (月)	農業教育情報センター	出席者 5人
広報委員会	令和 2年 5月12日 (火)	書面開催	
生涯スポーツ委員会 (常任委員会)	令和 3年 2月16日 (火)	県立武道館	出席者 12人

2) 理事会

第1回理事会	令和 2年 5月29日(木)	書面開催	
第2回理事会	令和 2年 6月12日(金)	書面開催	
第3回理事会	令和 2年 9月24日(木)	コラボしが21	理事出席22人 監事出席 2人
第4回理事会	令和 3年 3月10日(水)	農業教育情報センター	理事出席22人 監事出席 2人

3) 評議員会

定時評議員会	令和 2年 6月12日(金)	書面開催	
--------	----------------	------	--

4) 令和2年度加盟団体会長会議(再掲)

令和 2年11月12日(木)	びわこ大津プリンスホテル	出席者127人
----------------	--------------	---------

5) 令和2年度加盟団体理事長・事務局長会議

令和 2年 4月11日(土)	書面開催	
----------------	------	--

6) 第75回国体近畿ブロック滋賀大会滋賀県実行委員会

令和2年4月17日 (土)	書面開催
令和3年2月17日 (土)	書面開催

### 3. 安定した財政基盤の確立

新型コロナウイルス感染拡大防止を目的として、県が各指定管理施設の利用自粛・人数制限等を行ったことに伴う収入減については、県より補填いただいた。

コロナ対策感染予防対策を行いながら、各指定管理施設で創意工夫し、施設利用料収益やスポーツ事業参加料収益などの確保に努めた。

また、電気契約の見直しにより経費削減が見込める8施設（スポーツ会館、彦根総合運動場、県立体育館・武道館、長浜ドーム、栗東体育館、柳が崎ヨットハーバー、アイスアリーナ）については、新電力会社等との契約により経費削減に取り組んだ。

### 4. 組織力の向上と人材の育成

経営改善会議や事務局会議の充実を図り、組織目標や事業実施方針等を組織全体で共有し、中期経営計画の目標達成に向けて、PDCAサイクルを確実に進め、職員力・組織力の向上に努めた。

安全のための救命救急研修や新しい実技研修を行い、職員の資質向上に努めた。

1)救命救急研修（プロバイダー）	2回	出席者 13名
2)指導系新採職員研修（リズムトレーニング）	1回	出席者 10名
3)体育施設運営士養成講習会の実施	1回	出席者 31名
4)滋賀県政策研修センター研修等	2回	出席者 2名
5)人権教育研修	1回	出席者 2名
6)全国公益法人協会研修等	5回	出席者 6名
7)日本スポーツ協会ガバナンス研修	1回	出席者 1名